

生ごみ自家処理 こうしてためています！



自治会や地域の皆さんと一緒に！

ダンボールコンポストやごみについてもっと知ろうよ

エコサイクル・みたか

東京都三鷹市 山田 和美

「地域で生ごみを焼却せずに処理しよう！ 堆肥を作って使いまわそう！」という活動を始めて丸4年が経ちました。今まで地域の活動らしきことを何一つしてこなかった私が踏み出した小さな第一歩が「エコサイクル・みたか」です。ご自宅に庭のないアパートやマンションにお住まいの方でもダンボール箱と土さえあれば生ごみは処理できます。4年間、少しずつ時間を掛けて広めてきました。

エコサイクル・みたかの主な活動は、ダンボールコンポストの普及とごみ問題一般についての啓発です。

ダンボールコンポストの普及に関しては、まずは生ごみから堆肥ができることを知ってもらわないことには話になりません。仲間とともに市内外で講習会を開き、焼却せずとも生ごみは処理できるとお話ししてきました。

もともとは三鷹市で家庭ごみを有料化するという話からこの団体は作られました。有料化には反対でしたが結局は決まってしまう、それならなおのこと「家庭から出すごみは少しでも減らさなくては！」と活動に力が入りました。

ところが「ダンボールコンポストは確かに手軽でいいけれど、できた堆肥をどこでどうやって使うのか」が問題になりました。そこで市に協力をお願いし、街の公園の植栽の追肥に使っていただいたり、最近では近隣の自治会の花壇にも入れていただけるようになりました。上の写真は、花壇に生ごみ堆肥を混ぜ込んでいるところです。

それが縁で地域の住民協議会の環境部会イベントに呼んでいただいて学習会などをしたり（写真右）…と、活動の輪は確実に広がってきています。

もうひとつの活動であるごみ問題一般についての啓発ですが、つい先日、地元のごみ処理施設の見学に行ってきました。三鷹市と調布市の市境にあるふじみ衛生組合の「クリーンプラザふじみ」です。市内で同じようにごみ問題にかかわっているグループと一緒に見学習会を計画したのです。メンバーだけではなく一般の方々にも参加を呼び掛けたところ、15名の参加がありました。

クリーンプラザふじみは全連続燃焼式ストーカ炉を採用、1日の処理能力は288 t（144 tの炉が2つ）、煙突の高さは100 mです。2010年から着工がなされ、稼働は今年の4月から。ごみのおいが外に漏れないような工夫や発生した熱を回収し有効利用、蒸気タービン発電機で発電した電力は工場内の使用だけでなく電力会社に売るなどしています。

施設の職員の方の説明を受けたあと、施設内の見学をしました。ごみを燃やして出た灰はエコセメントとして活用する、ごみを出す際には分別を徹底してほしいなどの話がありました。私たちとしては「家庭から出るごみの量を少しでも減らしたい」というのが第一の目標なのですが、確かに分別も大事。これからも協力し合って地域のごみ問題に取り組んでいきたいと思っています。

